

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信
信託期間	2016年1月7日から2026年1月16日まで
運用方針	安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への直接投資は行いません。 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。 収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 収益分配に充てなかった留保益の運用については特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

運用報告書(全体版)

楽天USリート・トリプルエンジン・プラス (リアル)毎月分配型

第30期(決算日：2018年7月17日) 第33期(決算日：2018年10月17日)
第31期(決算日：2018年8月17日) 第34期(決算日：2018年11月19日)
第32期(決算日：2018年9月18日) 第35期(決算日：2018年12月17日)

受益者の皆様へ

平素は当ファンドにご投資いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび上記決算を行いましたので、当期間の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

楽天投信投資顧問株式会社

<http://www.rakuten-toushin.co.jp/>

東京都世田谷区玉川一丁目14番1号

本資料(運用報告書(全体版))の記載内容のお問い合わせ先

TEL：03-6432-7746

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

※お客様のお取引内容等につきましては販売会社にお問い合わせください。

■本資料の表記に関する注記

- ・金額等の数値は単位未満切捨または四捨五入により表示しております。このため、各項目の合計の値が合計欄と一致しないことがあります。
- ・－印は、組入・売買が無いことを示します。

最近5作成期の運用実績

決 算 期		基 準 価 額			投 資 信 託 証 証 組 入 比 率	親 投 資 信 託 受 益 証 証 組 入 比 率	純 資 産 額
		(分 配 落)	税 込 金 分 配	期 中 騰 落 率			
		円	円	%	%	%	百万円
第2作成期	6期(2016年 7月19日)	9,547	250	10.7	88.1	0.4	698
	7期(2016年 8月17日)	9,121	250	△1.8	92.2	0.3	787
	8期(2016年 9月20日)	8,645	250	△2.5	98.5	0.3	824
	9期(2016年10月17日)	8,881	250	5.6	97.9	0.2	1,036
	10期(2016年11月17日)	8,383	250	△2.8	97.9	0.2	1,036
	11期(2016年12月19日)	9,267	250	13.5	97.8	0.2	1,192
第3作成期	12期(2017年 1月17日)	9,502	250	5.2	95.9	0.2	1,353
	13期(2017年 2月17日)	9,819	250	6.0	96.1	0.1	1,774
	14期(2017年 3月17日)	9,426	250	△1.5	96.5	0.1	2,184
	15期(2017年 4月17日)	8,804	250	△3.9	97.0	0.1	2,250
	16期(2017年 5月17日)	9,008	250	5.2	97.2	0.1	2,823
	17期(2017年 6月19日)	8,234	250	△5.8	98.2	0.1	3,282
第4作成期	18期(2017年 7月18日)	8,287	250	3.7	97.1	0.1	3,863
	19期(2017年 8月17日)	7,930	250	△1.3	93.7	0.1	4,648
	20期(2017年 9月19日)	7,926	250	3.1	94.1	0.0	5,138
	21期(2017年10月17日)	7,630	250	△0.6	91.7	0.0	5,639
	22期(2017年11月17日)	7,362	250	△0.2	98.8	0.0	6,211
	23期(2017年12月18日)	7,125	250	0.2	96.4	0.0	6,957
第5作成期	24期(2018年 1月17日)	6,595	250	△3.9	97.1	0.0	7,412
	25期(2018年 2月19日)	5,782	150	△10.1	95.6	0.0	7,777
	26期(2018年 3月19日)	5,720	150	1.5	98.2	0.0	7,044
	27期(2018年 4月17日)	5,486	150	△1.5	96.1	0.0	6,659
	28期(2018年 5月17日)	5,207	150	△2.4	97.0	0.0	6,271
	29期(2018年 6月18日)	5,138	150	1.6	98.3	0.0	5,985
第6作成期	30期(2018年 7月17日)	5,126	150	2.7	97.9	0.0	5,983
	31期(2018年 8月17日)	5,029	100	0.1	95.1	0.0	6,009
	32期(2018年 9月18日)	4,733	100	△3.9	98.1	0.0	5,109
	33期(2018年10月17日)	5,057	100	9.0	99.2	0.0	5,287
	34期(2018年11月19日)	5,153	100	3.9	98.5	0.0	5,255
	35期(2018年12月17日)	4,967	100	△1.7	98.1	0.0	5,020

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

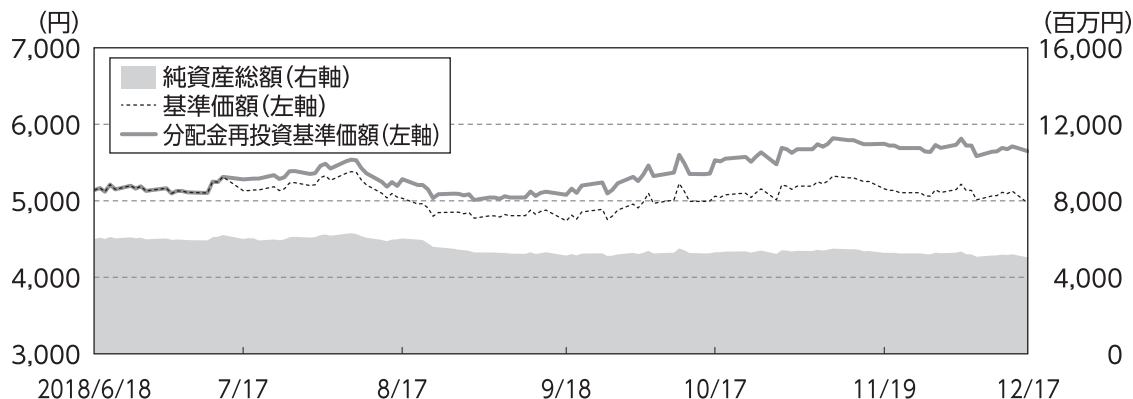
当作成期中の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託	親 投 資 信 託 受 益
			騰 落 率	証 券 組 入 比 率	証 券 組 入 比 率
第30期	(期 首)2018年 6月18日	円	%	%	%
		5,138	—	98.3	0.0
	6月末	5,134	△0.1	98.4	0.0
第31期	(期 末)2018年 7月17日	5,276	2.7	97.9	0.0
	(期 首)2018年 7月17日	5,126	—	97.9	0.0
	7月末	5,206	1.6	97.9	0.0
第32期	(期 末)2018年 8月17日	5,129	0.1	95.1	0.0
	(期 首)2018年 8月17日	5,029	—	95.1	0.0
	8月末	4,769	△5.2	98.8	0.0
第33期	(期 末)2018年 9月18日	4,833	△3.9	98.1	0.0
	(期 首)2018年 9月18日	4,733	—	98.1	0.0
	9月末	4,874	3.0	98.9	0.0
第34期	(期 末)2018年10月17日	5,157	9.0	99.2	0.0
	(期 首)2018年10月17日	5,057	—	99.2	0.0
	10月末	5,189	2.6	99.3	0.0
第35期	(期 末)2018年11月19日	5,253	3.9	98.5	0.0
	(期 首)2018年11月19日	5,153	—	98.5	0.0
	11月末	5,105	△0.9	98.0	0.0
	(期 末)2018年12月17日	5,067	△1.7	98.1	0.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

当作成期中の運用経過と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第30期首：5,138円

第35期末：4,967円(既払分配金650円)

騰落率：9.9%(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期間における分配金再投資基準価額は上昇しました。主な要因は以下の通りです。

米国リートETF要因

米国リートETFが前作成期末比で上昇したほか、米国リートETFを対象とするコール・オプションを売却するカバード・コール戦略でもオプション・プレミアムを着実に積み上げたことから、米国リートETFに係る戦略全体ではまとまったプラス寄与となりました。

ブラジル・リアル戦略要因

ブラジル・リアルは対円で小幅に下落したものの、ブラジル・リアル/円の金利差相当を収益化する戦略が収益を積み重ね、ブラジル・リアル戦略全体ではプラス寄与を確保しました。

米ドル/円のカバード・コール戦略要因

円に対する米ドルのコール・オプションの売却によるオプション・プレミアムによる収益が堅調に積み上がり、米ドル/円相場の変動を加味した米ドル/円に係る戦略全体においてもプラス寄与を確保しました。

■投資環境

●米国リート市場

当作成期間の米国リート市場は、2018年9月から10月にかけて調整したものの、その前後の期間は概ね良好な推移となり、前作成期末比で上昇しました。

期初から8月末頃までは、米国の長期金利の落ち着きに加え、良好な企業決算を背景に米国株式が上昇基調を維持したことなどをを受けて堅調な展開となりました。その後、米長期金利が急速に上昇幅を拡大すると一旦調整しましたが、米国株式市場の調整やグローバル経済の成長鈍化懸念などを背景に米長期金利が低下に転じた10月中旬以降は再び底堅い展開となり、前作成期末比プラス圏で期末を迎えました。

※米国リート市場の参加者には利回り重視の投資家が多く、米長期金利の水準はリートの配当利回りと比較され、リートの相対的な投資妙味を判断する重要な材料となっています。長期金利の上昇は通常、リートの利回り面での相対的な魅力を低下させる要因として、逆に長期金利の低下はリートの利回り面での相対的な魅力を向上させる要因として、それぞれ認識される傾向があります。

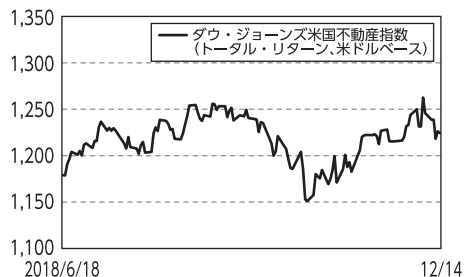
●為替市場

ブラジル・レアル相場

当作成期間のブラジル・レアルは、対円で小幅に下落しました。ブラジル・レアルは8月に一時対円で△10%を超えて大幅に下落したものの、9月以降持ち直しました。

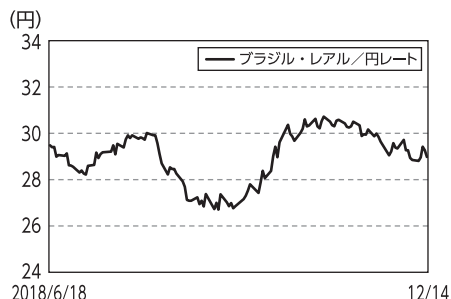
8月は中旬にかけてトルコリラが急落し、その影響が他の新興国全体へ波及するリスクが警戒され、ブラジル・レアルにも売り圧力がかかりました。また、ブラジル固有の材料としては、10月のブラジル大統領選挙を前に行われた世論調査で、収賄罪で収監されており、大統領選挙への出馬が困難と考えられているルーラ元大統領が最も高い支持を集める一方、財政再建派で市場寄りとなる候補の支持が伸び悩むなど、選挙動向の不透明感が強く意識されたこともブラジル・レアル下落の背景となりました。

9月以降は、トルコ中央銀行が市場予想を上回る大幅な利上げを実施したことを契機にトルコリラが反発し、トルコの通貨危機やその影響が新興国全体に波及するリスクへの警戒がいったん後退したこと、ブラジル・レアルをはじめ売り込まれていた多くの新興国通貨を買戻す動きが強まりました。また、大統領選挙の選挙戦で市場が相対的に選好した候補が終始優勢を保ち、実際に10月28日の決選投票で同候補が選出されたこともブラジル・レアルの反発を強く後押ししました。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。



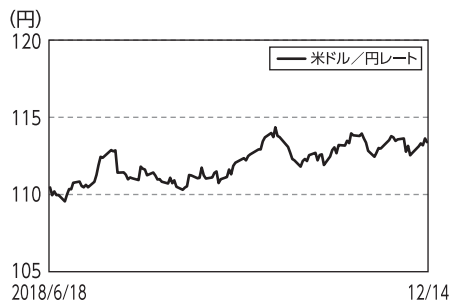
(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

米ドル／円相場

当作成期間の米ドル／円相場は、1ドル＝110円から114円の比較的狭いレンジでの推移となりましたが、期を通して緩やかな米ドル高／円安基調となりました。

米中貿易摩擦懸念やトルコ市場の混乱など地政学リスクなどに注目が集まる局面では、リスク回避的な円買いの動きから一時的に米ドル安／円高に振れる動きが見られましたが、米国が好調な経済指標を背景に利上げを継続するなか、米ドルは対円で底堅い動きとなりました。期初に1米ドル＝110円台でスタートした米ドル／円相場は、期末には113円を挟んだ水準で推移しました。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

●国内短期金融市況

日本の短期金利は、日銀による「量的・質的金融緩和」が継続するなか、当作成期間も引き続き低位で推移しました。短期金利の代表的な指標の一つである国庫短期証券(3ヵ月物)金利は、期初の△0.13%近辺から期を通じてマイナスで推移し、△0.25%近辺で期末を迎えました。

■当ファンドのポートフォリオ

当ファンド

追加設定・解約による資金フローを鑑みながら、主要投資対象である外国投資信託のパフォーマンスを享受すべく、当該外国投資信託の組入比率を高位に維持する運用を行いました。また、投資信託財産の一部を、親投資信託である「楽天・国内マネー・マザーファンド」の受益証券に投資しました。

外国投資信託

担保付スワップを通して、以下の取引を行った場合に得られる投資成果を享受する運用を行いました。

- ① ダウ・ジョーンズ米国不動産指数を対象としたiシェアーズ米国不動産ETFへの投資
- ② 当該ETFに係るコール・オプションの定期的な売却
- ③ 円売り／ブラジル・リアル買いの1ヵ月物外国為替先渡取引
- ④ 円に対する米ドルのコール・オプションの定期的な売却

楽天・国内マネー・マザーファンド

主に、国庫短期証券や高格付CPを対象にした現先取引による運用を行いました。

■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

■分配金

分配金額は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定しました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、投資信託財産内に留保し、運用の基本方針にもとづいて運用いたします。

●分配原資の内訳

(1万口当たり・税込)

項 目	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
	2018年6月19日～ 2018年7月17日	2018年7月18日～ 2018年8月17日	2018年8月18日～ 2018年9月18日	2018年9月19日～ 2018年10月17日	2018年10月18日～ 2018年11月19日	2018年11月20日～ 2018年12月17日
当期分配金 (円)	150	100	100	100	100	100
(対基準価額比率) (%)	(2.8)	(1.9)	(2.1)	(1.9)	(1.9)	(2.0)
当期の収益 (円)	150	100	100	100	100	100
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	859	930	984	1,044	1,111	1,176

(注1) 「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

当ファンド

引き続き、外国投資信託と楽天・国内マネー・マザーファンドを投資対象とし、外国投資信託への投資割合を高位に維持することを目指します。

外国投資信託

引き続き、担保付スワップを通して以下の取引を行った場合に得られる投資成果を享受することを目指します。

- ① ダウ・ジョーンズ米国不動産指数を対象としたiシェアーズ米国不動産ETFへの投資
- ② 当該ETFに係るコール・オプションの定期的な売却
- ③ 円売り/ブラジル・リアル買いの1ヵ月物外国為替先渡取引
- ④ 円に対する米ドルのコール・オプションの定期的な売却

楽天・国内マネー・マザーファンド

資産の保全と流動性に留意しながら、国庫短期証券や高格付CPを対象にした現先取引、コール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を目指します。

1万口当たりの費用明細

項 目	当作成期		項 目 の 概 要
	2018年6月19日～2018年12月17日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	33円	0.654%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は5,046円です。
(投信会社)	(16)	(0.317)	・委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(16)	(0.317)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.020)	・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.020	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(投資信託受益証券)	(1)	(0.020)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
			有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	1	0.020	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(—)	(—)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.000)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	(1)	(0.020)	・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料等
合 計	35	0.694	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注5) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。

売買および取引の状況

■投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		単位数又は口数	金 額	単位数又は口数	金 額
国内	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-USリート・トリプルエンジン・プラス・ファンド(適格機関投資家専用)(ブラジル・リアル・クラス)	千口	千円	千口	千円
		1, 107, 49943	50, 000	10, 300, 8217	448, 650

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

利害関係人※との取引状況等

該当事項はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況

該当事項はありません。

組入資産の明細

■ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名		当 作 成 期 末		
		単位数又は口数	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-USリート・トリプルエンジン・プラス・ファンド(適格機関投資家専用)(ブラジル・リアル・クラス)		千口	千円	%
		116, 220, 44837	4, 926, 101	98. 1
合 計	口 数 ・ 金 額	116, 220, 44837	4, 926, 101	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	< 98. 1% >	

(注1) < >内は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■親投資信託残高

	前作成期末	当 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
楽天・国内マネー・マザーファンド	千口	千口	千円
	2, 492	2, 492	2, 495

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 親投資信託の当作成期末現在の受益権口数は、1, 631, 246千口です。

投資信託財産の構成

項 目	当 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 証 券	千円 4,926,101	% 95.9
楽 天 ・ 国 内 マ ネ ー ・ マ ザ ー フ ェ ン ド	2,495	0.0
短 期 金 融 資 産 、 そ の 他	209,404	4.1
投 資 信 託 財 産 総 額	5,138,000	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本及び基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	(2018年7月17日)、	(2018年8月17日)、	(2018年9月18日)、	(2018年10月17日)、	(2018年11月19日)、	(2018年12月17日)現在
	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末	第34期末	第35期末
(A)資 産	6,173,306,596円	6,200,714,290円	5,300,973,712円	5,446,686,505円	5,432,410,273円	5,138,000,097円
コール・ローン等	314,911,297	486,193,880	284,019,114	196,583,210	250,286,408	209,403,005
楽天・国内マネー・マザーファンド	2,496,510	2,496,261	2,496,261	2,496,012	2,495,763	2,495,763
投資信託受益証券	5,855,898,789	5,712,024,149	5,014,458,337	5,247,607,283	5,179,628,102	4,926,101,329
(B)負 債	189,371,379	191,677,584	190,989,218	159,282,960	176,526,525	117,706,524
未 払 金	—	50,000,000	—	—	—	—
未 払 収 益 分 配 金	175,092,332	119,496,423	107,963,155	104,546,550	101,998,489	101,082,706
未 払 解 約 金	7,739,820	15,149,198	76,472,974	49,019,126	67,857,661	11,137,769
未 払 信 託 報 酬	6,353,714	6,832,000	6,338,158	5,516,859	6,442,000	5,293,280
そ の 他 未 払 費 用	185,513	199,963	214,931	200,425	228,375	192,769
(C)純資産総額(A-B)	5,983,935,217	6,009,036,706	5,109,984,494	5,287,403,545	5,255,883,748	5,020,293,573
元 本	11,672,822,179	11,949,642,374	10,796,315,531	10,454,655,087	10,199,848,980	10,108,270,644
次 期 繰 越 損 益 金	△5,688,886,962	△5,940,605,668	△5,686,331,037	△5,167,251,542	△4,943,965,232	△5,087,977,071
(D)受 益 権 総 口 数	11,672,822,179口	11,949,642,374口	10,796,315,531口	10,454,655,087口	10,199,848,980口	10,108,270,644口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,126円	5,029円	4,733円	5,057円	5,153円	4,967円

(注) 期首元本額は11,648,747,067円、第30～35期中追加設定元本額は1,792,435,576円、第30～35期中一部解約元本額は3,332,911,999円です。

■ 損益の状況

第30期(自2018年6月19日 至2018年7月17日) 第33期(自2018年 9月19日 至2018年10月17日)
 第31期(自2018年7月18日 至2018年8月17日) 第34期(自2018年10月18日 至2018年11月19日)
 第32期(自2018年8月18日 至2018年9月18日) 第35期(自2018年11月20日 至2018年12月17日)

項 目	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
(A) 配 当 等 收 益	195,532,227円	204,431,727円	168,688,295円	168,161,013円	175,069,102円	171,707,726円
受 取 配 当 金	195,545,227	204,446,062	168,706,369	168,170,365	175,076,493	171,717,880
支 払 利 息	△13,000	△14,335	△18,074	△9,350	△7,391	△10,154
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△28,967,313	△196,048,164	△372,031,374	277,273,609	28,940,528	△253,017,677
売 買 益	351,783	802,477	25,491,777	283,144,010	31,794,083	1,200,015
売 買 損	△29,319,096	△196,850,641	△397,523,151	△5,870,401	△2,853,555	△254,217,692
(C) 信 託 報 酬 等	△6,539,227	△7,031,963	△6,557,403	△5,717,284	△6,670,375	△5,486,049
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	160,025,687	1,351,600	△209,900,482	439,717,338	197,339,255	△86,796,000
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△2,202,812,737	△2,125,345,461	△1,982,100,869	△2,191,600,402	△1,788,014,296	△1,645,818,972
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△3,471,007,580	△3,697,115,384	△3,386,366,531	△3,310,821,928	△3,251,291,702	△3,254,279,393
(配当等相当額)	(855,928,762)	(891,978,166)	(811,828,076)	(790,933,571)	(776,228,441)	(776,089,216)
(売買損益相当額)	(△4,326,936,342)	(△4,589,093,550)	(△4,198,194,607)	(△4,101,755,499)	(△4,027,520,143)	(△4,030,368,609)
(G) 合 計 (D+E+F)	△5,513,794,630	△5,821,109,245	△5,578,367,882	△5,062,704,992	△4,841,966,743	△4,986,894,365
(H) 收 益 分 配 金	△175,092,332	△119,496,423	△107,963,155	△104,546,550	△101,998,489	△101,082,706
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△5,688,886,962	△5,940,605,668	△5,686,331,037	△5,167,251,542	△4,943,965,232	△5,087,977,071
追 加 信 託 差 損 益 金	△3,471,007,580	△3,697,115,384	△3,386,366,531	△3,310,821,928	△3,251,291,702	△3,254,279,393
(配当等相当額)	(855,928,762)	(891,978,162)	(811,828,076)	(790,933,570)	(776,228,441)	(776,089,216)
(売買損益相当額)	(△4,326,936,342)	(△4,589,093,546)	(△4,198,194,607)	(△4,101,755,498)	(△4,027,520,143)	(△4,030,368,609)
分 配 準 備 積 立 金	147,770,858	220,080,321	250,528,873	300,703,395	357,443,102	413,161,205
繰 越 損 益 金	△2,365,650,240	△2,463,570,605	△2,550,493,379	△2,157,133,009	△2,050,116,632	△2,246,858,883

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

項 目	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
(A) 配当等収益額(費用控除後)	188,992,852円	197,399,596円	162,130,758円	166,002,547円	169,345,062円	166,221,525円
(B) 有価証券売買等損益額 (費用控除後・繰越欠損金補填後)	－円	－円	－円	－円	－円	－円
(C) 収益調整金額	855,928,762円	891,978,162円	811,828,076円	790,933,570円	776,228,441円	776,089,216円
(D) 分配準備積立金額	133,870,338円	142,177,148円	196,361,270円	239,247,398円	290,096,529円	348,022,386円
(E) 分配対象収益額(A+B+C+D)	1,178,791,952円	1,231,554,906円	1,170,320,104円	1,196,183,515円	1,235,670,032円	1,290,333,127円
(F) 期末残存口数	11,672,822,179口	11,949,642,374口	10,796,315,531口	10,454,655,087口	10,199,848,980口	10,108,270,644口
(G) 収益分配対象額(1万口当たり) (E/F×10,000)	1,009.86円	1,030.62円	1,084.00円	1,144.16円	1,211.45円	1,276.51円
(H) 分配金額(1万口当たり)	150円	100円	100円	100円	100円	100円
(I) 収益分配金額 (F×H/10,000)	175,092,332円	119,496,423円	107,963,155円	104,546,550円	101,998,489円	101,082,706円

分配金のお知らせ

	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
1万口当たり分配金	150円	100円	100円	100円	100円	100円

収益分配金の支払いについて

- ・収益分配金は、取扱い販売会社において決算日から起算して5営業日までに支払いを開始いたします。
- ・分配金再投資コースを選択されている場合は、各決算日の基準価額に基づき、お客様の口座に繰り入れて再投資いたします。

収益分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金は、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」の区分があり、分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本を下回る場合は、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

受益者別の普通分配金に対する課税について

個人の受益者

20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、および地方税5%)の税率となります。

法人の受益者

個人の受益者とは異なります。

※税法が改正された場合等は、上記の内容が変更される場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お知らせ

該当事項はありません。

■組入ファンドの概要

以下は、『楽天USリート・トリプルエンジン・プラス(リアル)毎月分配型』が組み入れている投資信託証券(ファンド)の状況として、当作成期末において入手できる直近の情報を掲げております。

ファンド名	運用会社又は管理会社	決算日
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) Ⅲ-USリート・トリプルエンジン・プラス・ファンド (適格機関投資家専用)(ブラジル・リアル・クラス)	クレディ・スイス・マネジメント (ケイマン)リミテッド	2017年11月30日
楽天・国内マネー・マザーファンド	楽天投信投資顧問株式会社	2018年6月15日

1. クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-USリート・トリプルエンジン・プラス・ファンド(適格機関投資家専用)(ブラジル・リアル・クラス)

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ケイマン籍／外国投資信託／円建
運用目的および 主な運用方針	<p>担保付スワップ取引を通じて実質的に、米国リート指数に連動する運用成果を目指すETFへ投資するとともに、同ETFおよび米ドル／円レートのカバード・コール戦略ならびにブラジル・リアル戦略を組み合わせることで、インカム性収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指します。</p> <p>※担保付スワップの相手方は、クレディ・スイス・インターナショナルです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 米国リートへの投資にあたっては、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数に連動することを目的としたETFを対象とします。 ※対象とする指数、ETFは将来変更される場合があります。 2. 対象とする米国リートETFに対するコール・オプションの売却を行うこと(米国リートETFのカバード・コール戦略)により、オプション・プレミアムの確保を目指します。 3. 円に対する米ドルのコール・オプションの売却を行うこと(米ドル／円レートのカバード・コール戦略)により、オプション・プレミアムの確保を目指します。 4. 円売り／ブラジル・リアル買いの為替取引(ブラジル・リアル戦略)を行うことにより、円とブラジル・リアルの金利差相当分の収益と対円でのブラジル・リアルのパフォーマンスの獲得を目指します。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> - 純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 - 純資産総額の15%を超えて流動性の低い資産を組み入れることはありません。 - 単一の発行体および取引の相手方に対するエクスポージャーは投資信託財産の10%を超えないものとします。(ただし、担保付取引の場合は該当するエクスポージャーから当該担保の評価額を差し引くことができるものとします。)
分配方針	原則として、毎月行います。
申込手数料	ありません。
管理報酬等	<p>純資産総額に対し年0.50%</p> <p>(担保付スワップ取引にかかる費用、受託会社、管理会社、事務代行会社、保管銀行への報酬、監査費用、弁護士費用等を含みます。)</p> <p>ただし、その他ファンド運営に必要な各種経費等がかかる場合があります。</p>
信託財産留保額	1口当たり純資産総額に対し0.30%
管理会社	クレディ・スイス・マネジメント(ケイマン)リミテッド

■ 損益計算書

(2016年12月1日～2017年11月30日までの計算期間)

	2017 JPY
Fee income	1,003,415,208
Net loss on investments in Collateralized Swap	<u>(750,033,251)</u>
Net investment income	<u>253,381,957</u>
Operational Costs Fee	<u>(15,980,259)</u>
Total expenses	<u>(15,980,259)</u>
Total comprehensive income (being increase in Net Assets attributable to the Unitholders from operations)	<u><u>237,401,698</u></u>

■ 投資資産明細

(2017年11月30日現在)

The Collateralized Swap value outstanding at 30 November 2017 (100% of net assets):

2017 Underlying strategy	Expiration date	Counterparty	Cost	Fair value	Unrealized loss
Options trading linked to US REIT index and USD/JPY and BRL/JPY foreign exchange rate overlays	7 January 2022	Credit Suisse International	JPY7,071,187,223	JPY6,398,465,317	JPY(672,721,906)

楽天・国内マネー・マザーファンド

第8期(2018年6月15日)

《運用報告書》

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限(2010年6月25日設定)
運用方針	主として本邦通貨建ての短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主な投資対象	本邦通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

当マザーファンドはこのたび上記決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

楽天投信投資顧問株式会社

東京都世田谷区玉川一丁目14番1号

URL : <http://www.rakuten-toushin.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		公社債 組入比率	債券先物 組入比率	その他 有価証券 組入比率	純資産総額
	円	騰落率				
4期(2014年 6月16日)	10,028	0.1	98.2	—	—	1,120
5期(2015年 6月15日)	10,029	0.0	96.7	—	—	3,101
6期(2016年 6月15日)	10,030	0.0	47.9	—	47.8	1,254
7期(2017年 6月15日)	10,025	0.0	48.7	—	48.7	2,053
8期(2018年 6月15日)	10,018	△0.1	—	—	32.2	3,102

(注1) 債券先物組入比率＝買建比率－売建比率

(注2) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当期中の基準価額の推移

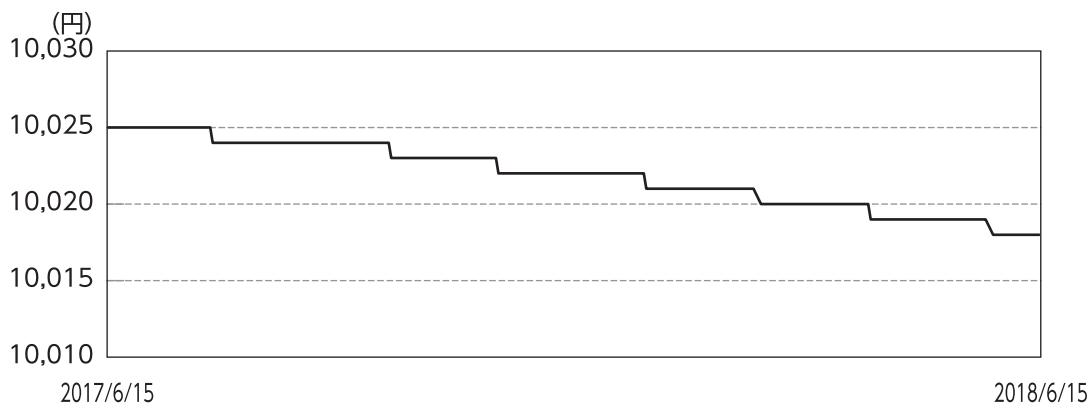
年月日	基準価額		公社債 組入比率	債券先物 組入比率	その他有価証券 組入比率
	円	騰落率			
(期首) 2017年 6月15日	10,025	—	48.7	—	48.7
6月末	10,025	0.0	—	—	48.7
7月末	10,024	0.0	48.8	—	48.7
8月末	10,024	0.0	48.7	—	48.7
9月末	10,024	0.0	—	—	48.7
10月末	10,023	0.0	—	—	30.0
11月末	10,022	0.0	40.3	—	40.2
12月末	10,022	0.0	37.8	—	37.8
2018年 1月末	10,021	0.0	43.0	—	42.9
2月末	10,020	0.0	—	—	24.1
3月末	10,020	0.0	—	—	28.5
4月末	10,019	△0.1	42.9	—	21.4
5月末	10,018	△0.1	—	—	40.4
(期末) 2018年 6月15日	10,018	△0.1	—	—	32.2

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 債券先物組入比率＝買建比率－売建比率

当期中の運用経過と今後の運用方針

■ 基準価額の推移

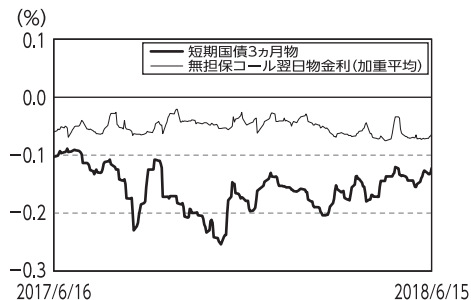


■ 基準価額の変動要因

主な投資対象である国庫短期証券や高格付コマーシャル・ペーパーの利回りがマイナスあるいはゼロ近辺で推移したため、基準価額は緩やかなペースで下落しました。

■ 投資環境

当期は、日本銀行による「量的・質的金融緩和」が継続するなか、日本の短期金利は引き続き低位で推移しました。短期金利の代表的な指標の一つである国庫短期証券(3ヵ月物)金利は期を通じてマイナス圏で推移し、特に各四半期末に向けた担保需要の高まりとともに海外勢の買い圧力が強まった局面や、2018年5月からの決済期間短縮化を前にした在庫確保の動きが高まった4月中旬などは、マイナス幅が拡大しました。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

■ 当ファンドのポートフォリオ

主に、コールローン、国庫短期証券および高格付コマーシャル・ペーパーを対象にした現先取引による運用を行いました。

■ 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

■ 今後の運用方針

資産の保全と流動性に留意しながら、国庫短期証券や高格付コマーシャル・ペーパーを対象にした現先取引、コール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を目指します。

2. 楽天・国内マネー・マザーファンド

1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	-円	-%
(公社債)	(-)	(-)
(現先)	(-)	(-)
(b) その他費用	0	0.000
(保管費用)	(-)	(-)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は10,022円です。

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、費用項目については7ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照下さい。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

売買および取引の状況

■ 公社債

		当 期	
		買 付 額	売 付 額
国 内		千円	千円
	国 債 証 券	212,147,806	213,147,065 (-)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ その他有価証券

		当 期	
		買 付 額	売 付 額
国 内		千円	千円
	コマーシャル・ペーパー	217,999,918	217,999,920 (-)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

利害関係人※との取引状況等

該当事項はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

2. 楽天・国内マネー・マザーファンド

組入資産の明細

■国内(邦貨建) 其他有価証券

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コマーシャル・ペーパー	999,999	32.2
合 計	999,999	32.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
現 先	999,999	30.6
短期金融資産、その他	2,270,499	69.4
投資信託財産総額	3,270,498	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本及び基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年6月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,270,498,741円
コール・ローン等	2,270,499,114
現 先	999,999,627
(B) 負 債	168,275,471
未 払 解 約 金	168,270,000
その他未払費用	5,471
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	3,102,223,270
元 本	3,096,622,996
次期繰越損益金	5,600,274
(D) 受 益 権 総 口 数	3,096,622,996口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,018円

(注1) 期首元本額 2,048,662,778円

期中追加設定元本額 18,766,224,952円

期中一部解約元本額 17,718,264,734円

(注2) 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額

楽天ブルーベア・マネープール 3,092,135,907円

楽天USリート・トリプルエンジン・プラス(リアル) 毎月分配型 2,492,274円

新ホリコ・フォーカス・ファンド 996,910円

楽天グローバル・プレミア・ファンド(ロボット自動運用型) 997,905円

■損益の状況

(自2017年6月16日 至2018年6月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△1,564,572円
受 取 利 息	1,921
支 払 利 息	△1,566,493
(B) そ の 他 費 用	△40,329
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	△1,604,901
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	5,135,393
(E) 解 約 差 損 益 金	△36,695,266
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	38,765,048
(G) 合 計 (C+D+E+F)	5,600,274
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	5,600,274

(注1) 損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

お知らせ

該当事項はありません。